

総務常任委員会 行政視察報告

「湯沢市、新庄市における地方創生事業の取り組みについて」

総務常任委員会では、所管事務調査の一環として、11月7・8日に秋田県湯沢市、山形県新庄市を行政視察しました。

湯沢市の産業構造は、農林業等の一次産業のほか製造業の二次産業が主体であり、特に清酒、漆



▲湯沢市視察の様子



▲新庄市視察の様子

器、稲庭うどん等の地場産業が、多くの雇用を支えています。

しかし、中流の請負製造業が多く、新たな取り組みに乏しい課題があります。特に創業比率は、全国的に低い水準であり、女性の就労が、制約される課題（出産、育児等）に対応するため、クラウドソーシング事業で、働き方改革を進めています。今後の事業継続

は、現受託会社抜きには難しいものとの、所感を持ちました。

新庄市では、地元定着型キャリア教育推進に向け、産学官が連携し情報を共有しながら、中高大学生へのそれぞれの切り口を持ったアプローチ事業を展開しています。

若年層の地元企業への理解を深めることで、流出人口を減らす取り組みでありました。

また、農業分野では、6次産業化を推進し、新庄ブランド確立や、若者園芸実践塾を開設し、就農人口増に向けた取り組みを行っています。

ユネスコ登録山車行事を核とした地域ブランドインングによる、観光まちづくりにも力を入れています。

議会総務常任委員会

委員長	小野 恵章
副委員長	佐藤 筐子
委員	木村 清一
委員	上田 勉
委員	長谷川 博
委員	五野井敏夫

民生教育常任委員会 行政視察報告

民生教育常任委員会は「健康寿命の延伸」を課題に次のとおり行政視察しました。

町田市「総合型地域スポーツクラブの取り組み」

地域スポーツクラブは子どもから高齢者まで幅広い世代が、日常的なスポーツの場として地域自らが主体となり運営する団体のことです。

町田市ではトップスポーツの支援や施設整備により普及・推進を図りながら市民の健康増進に取り組んでいます。また条件を満たした団体に助成を行っています。



▲町田市視察の様子



▲小田原市視察の様子

小田原市「アクティブシニア応援ポイント事業」

小田原市では60歳以上の市民が、今後人手不足が見込まれる介護保険施設等にボランティアとして活動する取り組みを行っています。

シニア世代が持っている豊富な経験と知識を生かすことで、ボランティア本人の介護予防も図るものです。活動のたびにスタンプを押して商品と交換できます。

横浜市「健康スタンプラリー・ウォーキングポイントの取り組みについて」

横浜市では子どもから大人まで、日常生活で楽しみながら健康づくりや介護予防等に取り組むきっかけとなるようにスポーツ・健康づくりイベント・講座などを開催しています。

また18歳以上を対象に歩数計を配布し、歩数によりスタンプがもらえる事業では、たまったスタンプ数によって協賛企業の景品に応募することができます。



▲横浜市視察の様子

議会民生教育常任委員会

委員長	熱海 重徳
副委員長	菅原 節郎
委員	阿部としゑ
委員	多田 龍吉
委員	大橋 博之
委員	滝 健一